

東北復興ボランティア概要

- 京都大学の資金提供による全学生向けボランティア
 - 京大の負担.....移動費、宿泊費
 - 学生の負担.....食費、自主企画の予算
- 去年は夏と冬に1回ずつ開催
- フィールド研の主導
- 畠山重篤氏の協力

畠山重篤氏とは.....!?



- NPO法人「森は海の恋人」
 - 山地での植林が海の生態系保全につながる
- 舞根でカキ養殖業
- 京大フィールド研特任教授
- 国連のフォレストヒーロー

第二回ボランティア概要

- 場所
 - 宮城県気仙沼市舞根地区
 - 宮城県気仙沼高校
- とき
 - 3月19日～23日

第二回ボランティア概要

- 総勢約30名
 - 職員.....フィールド研、技術職員、学務部
 - 労働ボランティア.....20名
 - 研究ボランティア.....2名
- 日程
 - 1日目.....バス移動
 - 2日目.....丸太の運び出し
 - 3日目.....カキの種付け
 - 4日目.....自主企画（気仙沼高校生との交流会）
 - 5日目.....バス移動

1日目：気仙沼に向けて出発

(概要)

- ・6時30分 京大クスノキ前集合
(もしくは、18時ごろ 一関集合)
- ・7時ごろ 京大を出発
- ・21時過ぎ 「からくわ荘」に到着
- ・21時過ぎ～ 食事、ミーティング
- ・22時30分ごろ 入浴、就寝

2日目：森での活動

- ・9時 畠山さんのもとに到着
- ・9時過ぎ～ 森の中で職員の方が
伐採した丸太を運び出す
- ・12時ごろ～ 昼食
- ・13時～16時 活動再開
- ・16時過ぎ～ 畠山さんのお話
- ・17時ごろ 畠山さんのもとを出発

森での作業



筏の材料となる木材を切り出す
技術職員の方が切った丸太を運び出す

2日目の続き

- ・17時30分ごろ 国民宿舎到着
- ・18時ごろ～ 入浴、夕食、連絡
- ・19時過ぎ～ 柴田先生による勉強会、夜の作業
Ex) パネルディスカッション、ポスターの作成、議論など
- ・23時ごろ～ 各自就寝

柴田先生による勉強会



森里海連環学の見地から震災の影響や復興のしかたなどを解説

夜の作業の様子



4日目の自主企画の準備として、ポスター制作やパネルディスカッションの打ち合わせなど

3日目：森と海での作業

- ・9時 畠山さんのもとに到着
- ・9時過ぎ～12時ごろ 森での作業
- ・12時過ぎ～ 昼食
- ・13時過ぎ～ 海での作業

⇒カキの種付け、筏に牡蠣をくくりつける作業の補助など

- ・16時ごろ～ 畠山さんのお話
- ・17時ごろ 畠山さんのもとを出発

海での作業

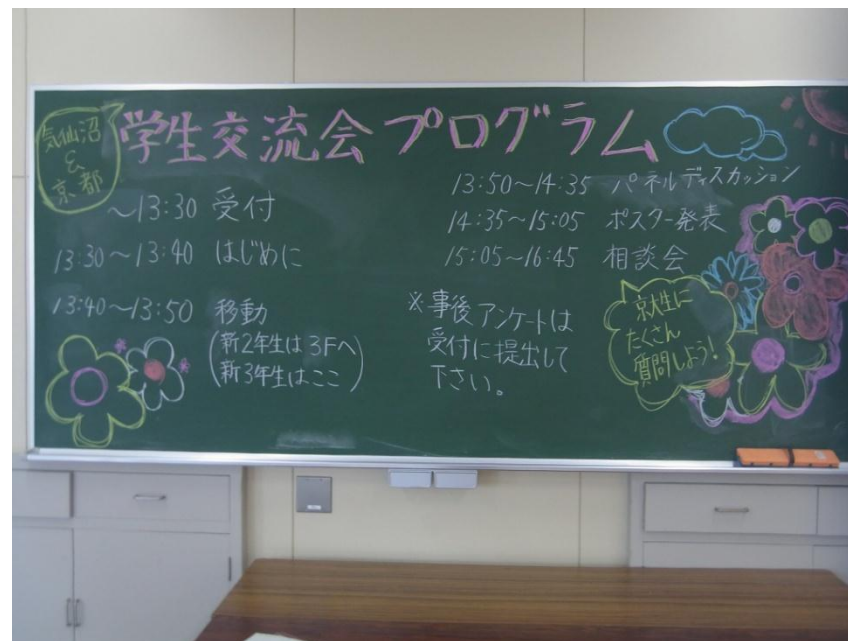


ホタテの貝にカキの稚貝を付ける作業

3日目の続き

- ・17時30分ごろ 国民宿舎到着
 - ・18時ごろ～ 入浴、夕食、連絡
 - ・19時過ぎ～ 夜の作業
- ⇒24時過ぎまで続くことも

4日目:学生交流会



自主企画の内容は後で詳しく説明します

5日目：京都に帰還

- 7時30分ごろ 国民宿舎出発
- 8時 海岸沿いのお土産店に寄る
- 23時過ぎ 京都に到着

お土産店の一例



お土産を買うことで現地の消費に貢献

自主企画について

- ボランティア全体の目的
 - 企画を10年間継続する
 - 独自性のあるボランティアを行う
- 現地や参加学生のニーズの変化
- より大きくなる自主企画のウエイト

気仙沼高校との交流会（第2回）

- 目的

- ①高校生に将来を考えてもらうきっかけを作る
- ②交流の中で、現地のニーズを知る
- ③現地とのつながりづくり

概要

- ・10時30分 気仙沼高校に到着
先生方とのあいさつ・お話
- ・11時ごろ～ 場所のセッティングなど
- ・12時過ぎ～ 昼食、最終確認
- ・13時過ぎ～ 学生の受付
- ・13時30分(過ぎ)～16時30分過ぎ
学生交流会
- ・17時ごろ～ あいさつ、気仙沼高校出発

パネルディスカッションの様子



2年生.....大学生活全般について
3年生.....受験生時代の過ごし方

ポスター発表の風景



個人単位でポスター制作
ゼミ・部活・アルバイト・趣味の話題など

座談会の様子



勉強法の相談等
最も高い満足度

自主企画を行うにあたって

- ある程度のコミュ力が必要(?)
- 明るさと清潔さが大事
- しかし、1番大事なのはモチベーション
- 自主企画は事前の準備を行う必要がある
- 週1回程度のミーティングと役割分担をこなす